

めざす地域共生社会モデル像（イメージ）

楽しみ・魅力・にぎわい

- ・日常生活で繰り返し人がやってくる
- ・様々な人の週末の楽しみがある
- ・誰もが自然と足を運びたくなる
- ・にぎわいと、緩やかなつながりがある



多世代交流・生涯活躍・次世代育成

- ・生きがいボランティアで、社会とつながる
- ・つながりあって、地域課題解決
- ・健康で長生き、みんなの幸せ
- ・将来を生きる子どもをみんなで育て、見守る
- ・ICT活用で交流機会とつながりを創造



～ もっとインクルーシブに、みんなの楽しみ
インクルーシブな価値観を人や地域社会へ



※写真等はイメージです。
内容等が変更になることがあります。

多様な主体の活躍

- ・障がいの有無等に関わらず、誰もが働ける、活躍できる機会がある
- ・誰もが人に喜んでもらえる、人を感動させることができる
- ・就労、アート、パラスポーツなどICT活用で活躍の機会・場所を創出

市民、地域に愛される地域共生の拠点

- ・みんなが使えるインクルーシブ空間
- ・コーディネート組織を中心に、市民企画イベント開催
- ・あらゆる主体がつながりあって、新しい価値の創造（地域や企業、団体のプラットフォーム構築）
- ・困りごと、悩み、なんでも気軽に相談。みんなで解決

「多様性」×「つながり」×「ICT活用」で、今までの社会常識を超え、新しい価値を見いだす

地域共生社会という、新しい社会の形をみんなで考え創造する場所

整備スケジュール

令和10（2028）年度中の運営開始に向け、下記のとおり整備を進めます。

令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
	初期造成工事	道路・水路 基本設計				
基本構想	基本計画・ 運営主体検討		事業者選定	設計・工事		運営開始

（仮称）地域共生ステーション整備基本計画 概要版

令和6年3月発行

高槻市 健康福祉部 地域共生社会推進室
〒569-0067 高槻市桃園町2番1号
TEL:072-674-7162 / FAX:072-674-7820

（仮称）地域共生ステーション 整備基本計画 概要版

市の基本的な考え方と空間のコンセプト

市の基本的な考え方

あらゆる世代の人が、障がいの有無等に関わらず、地域において生きがいや希望をもち、安心して生活を送ることができるよう、インクルーシブな地域社会をつくる観点から整備を進めます。

空間のコンセプト

（仮称）地域共生ステーションで過ごす人、訪れる人、すべての人が

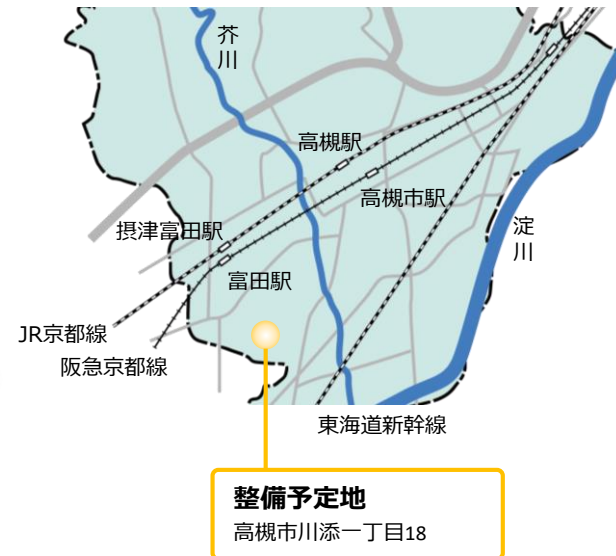
安心して過ごせる空間で
あること

人や地域社会と
関わり合いをもてること

希望をもち、夢を育める
機会があること

地域や訪れる人のために
役割をもてること

整備予定地



整備予定地
高槻市川添一丁目18

（仮称）地域共生ステーション屋内イメージ



※イラストは一例であり、今後の設計等により変更があります。

(仮称) 地域共生ステーションの外部空間の導入施設と整備イメージ

(仮称) 地域共生センター内の導入施設と整備イメージ

大屋根広場



- 敷地北部など、(仮称) 地域共生センターとは離れた広場に設置
- 雨天の遊び場、イベント会場として利用

インクルーシブ広場

- インクルーシブ遊具を設置
- 誰もが自由に過ごせる広い環境を整備



外周園路・散策路

- 障がい者等優先レーンを設置

屋根付きテラス



- (仮称) 地域共生センターの付帯施設
- 雨天の遊び場、イベント会場として利用

バスロータリー

- 敷地の南側、(仮称) 地域共生センターエントランス前への設置を想定

駐車場・駐輪場

- 施設利用者数算定より、約60台必要
- 敷地の南側エントランス付近に設置



貸室 (XR対応)

- XRに対応可能な機器等(高速通信環境や超単焦点プロジェクタ)が設置された貸室
- 災害時には移動困難者の一時的な避難場所として機能



キッチンスタジオ・クラフトルーム

- 料理教室・木工体験等が可能なスペース
- 調理台、裁縫、シン、DIY工作台、工具関係、手洗い場、ワークショップ用作業台などを設置



多目的ホール(XR対応)

- 子どもの発表会など様々なイベントもできる広い部屋
- XR水族館等のイベントの企画、実施

多目的スタジオ

- パラスポーツ、軽スポーツ、イベント等が可能なスペース及び通信機器を備えたフィットネス兼トレーニングルームを併設

ギャラリー・ショップ

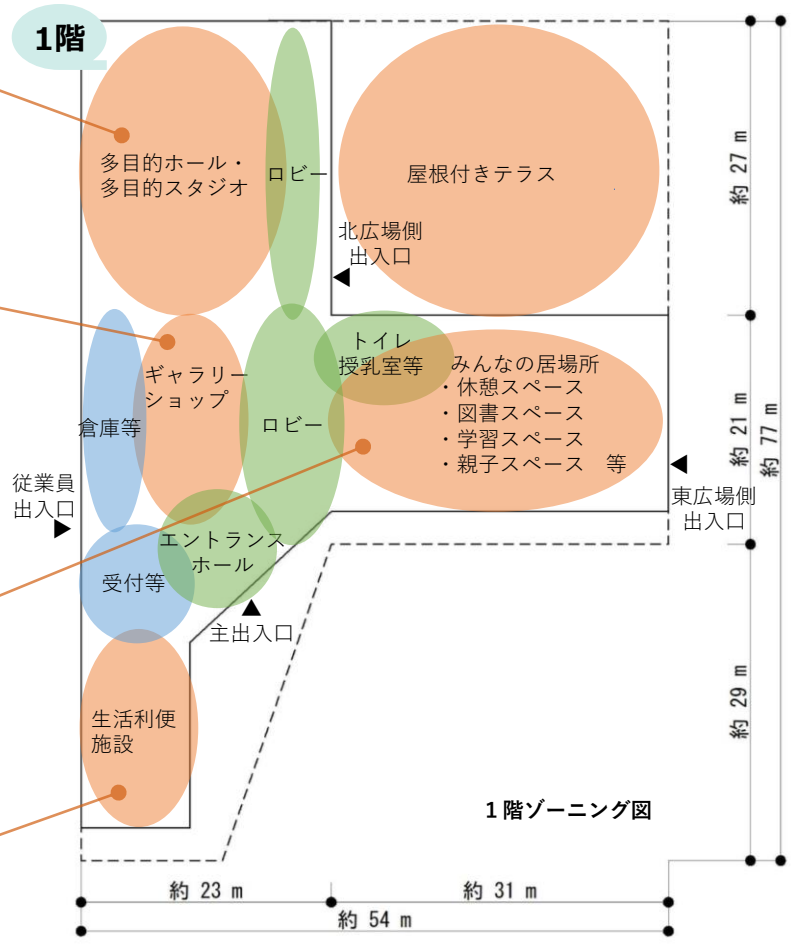
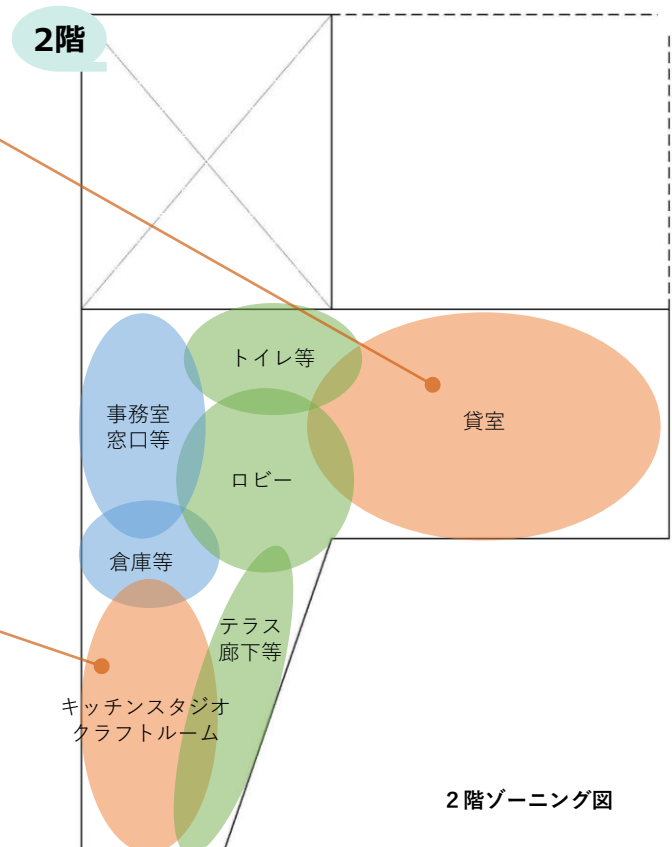
- 障がい者アート等を展示するギャラリーと作品を購入できるショップ

みんなの居場所

- 利用者が交流・休憩できるバリアフリー空間
- フリーWi-Fiで、コワーキングスペースや自習スペースとしても利用可
- 一部は、親子スペースとして子どもが遊具やおもちゃで遊べる空間を設置

生活利便施設

- カフェ・ベーカリーや物販施設等
- 障がい者等の雇用や障がい者等と利用者の交流が生まれるものを想定



※図は一例であり、今後の設計等により変更があります。